



やわらぎ会通信 Vol.38

もうすぐ梅雨明け、夏はもうすぐです。夏は『山』派ですか、『海』派ですか？やわらぎ会スタッフにアンケートを取ってみたところ、結果はなんと5対5で引き分けでした。



『海』派の意見としては、だいたいは海が好きだからということでした。

『山』派の意見としては、景色が良い・沢のぼりが好き・夏山が好きという“山が好き”という声と、水着になれない(!)・泳げないという微妙な“海がいや”という声に分かれました。いずれにしても大自然に抱かれるというのは良いものです。皆さんの今年の夏計画はいかがでしょうか？



最近の歯科事情について

最近の医学の研究の進歩の中で特筆すべきものの一つが再生医学です。これは自分の細胞を用いて、色々な臓器を再生し、悪くなった部分と交換できるような医療を目的としています。

歯科領域においては、自分の細胞を用いた歯周組織(歯や歯を支えている歯ぐきや骨)の再生医療が臨床応用の段階に入っています。また実験的に試験管の中では歯を再生することにも成功しています。今すぐに自分の歯を再生して移植するというのは、まだ夢の話ですが、こうした再生医療の研究の進歩によって、歯や歯周組織の再生や修復のしくみが明らかになりました。その結果、今まで困難であった進行した歯周病(歯槽膿漏=しそうのうろう)の治療もかなり進歩しました。

例えば進行した歯周病の場合、歯周病菌に感染した歯周組織を完全に除去し、無菌的で健康な組織を修復再生した後に、残っている歯をブリッジやコーヌス義歯(歯と義歯を二重の金冠で連結する方法)等で連結固定し、安定した咬み合わせを付与することで治療可能です。

藤田 和也



16個入りの飴があります。
あなたはいつどのタイミングで食べますか？

- ①好きなときに食べる
- ②半分に分けて食べる
- ③一気に食べる
- ④食事の後に食べる



耳より
コーナー



((((((((
)o o(
(o ((

さあ、あなたは①～④のうちどれを選びますか？
虫歯になりやすさを考えると、①が一番虫歯になりやすいですね。そのあとは順に②、③で、④が一番虫歯になりにくいといえます。食事や間食の度に唾液が酸性に傾いて、お口の中は虫歯ができやすい環境になります。その後は新しく出てくる唾液によってうすめられ、元に戻ります。食べる回数が増えるとそれだけお口の中の虫歯になりやすい環境が長くなってしまいます。子供達の自由な時間が長い夏休み、間食の取り方を考えてみてはいかがでしょうか。



歯科技工士ってご存知ですか？

英語で言うと「デンタルテクニシャン」海外ではよく知られた職業ですがここ日本では知らない人が多いようで、よく「何をやる人ですか」と尋ねられます。私達は口の中に入れるもの全般を作っています。よく知られているものでは金や銀の詰め物やかぶせ物、セラミックの歯、そして入れ歯といったところでしょうか。

皆さんと会えるのは歯の色を見に行く時くらいで、普段が一番奥の技工室でひたすら歯を作っています。口の中に入れるものはどんな小さなものでもすべてオーダーメイド、手作りなんです。ドラキュラの牙だって作れちゃいます。金属のかぶせ物(クラウンといいます)一つ作るのに実質の作業時間は1.5から2時間、個人個人の咬み合わせを考えながら作っています。お口の中での調整も少なく、ぴったりと入ると嬉しいです。

私はこの仕事に就いて16年になります。やめずに続けているということは好きなんだろうね、きっと。



※同封していますレセプト(保険診療報酬の明細)のコピーは平成16年6月にお受けになられたものです。自由診療のみの方には同封されていません。また患者様からのご意見・ご投稿を受け付けています。手紙・はがき・メールどうぞ。メールアドレス yawaragi@fujita.gr.jp

平成16年 7月20日号
編集発行人 藤田 和也
編集者 山下 剛史